

「木の良さ」を科学する —木材がひとの触・視・嗅に及ぼす影響—

生活環境に木材を用いたときの居心地や使い心地の良さは古くから経験的に知られています。これに加えて近年、木材の健康に与える効果への関心や期待が社会で強まってきています。しかし、その科学的なエビデンスは十分にあるとは言えませんでした。そこで、森林総合研究所では、2015年4月に運営費交付金プロジェクト「人間の快適性に及ぼす木材の触覚、視覚及び嗅覚刺激の効果の解明」を開始し、これまで根拠が曖昧であった「木の良さ」を科学的データで裏付けることを目指して研究を実施しています。本研究プロジェクトでは、木材による視覚、嗅覚、触覚刺激が人間の生理・心理面に与える影響について、とりわけ「人を測る」ことに重点を置いて評価手法を確立するとともに、「木材の良さ」に関する科学的なエビデンスとなるデータの蓄積を進めてきました。

本研究プロジェクトの3年間の研究成果について、下記の通り成果報告会を開催いたします。木材の良さに関する研究を行っている方や木材産業に携わる方だけでなく、木材の良さを生活に活かしたいと考える一般の方々にも参加して頂ければ幸いです。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

主催：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

後援：日本木材学会居住性研究会・日本生理人類学会 Wood/Human Relations 研究部会

日時：2018年2月27日（火）13：30～17：00

会場：東京大学弥生講堂一条ホール（東京都文京区弥生 1-1-1、東京大学農学部構内）

会費：無料（事前申込要）

申込方法：~~お名前、所属、連絡先（e-mail アドレス）を添え、comfortwood@ffpri.affrc.go.jp で事前登録してください。なお、定員に空きがある場合、当日参加も受け付けます。~~

定員：300名（申込順。2月9日時点で申込み多数のため受付を締め切りました。）

次第：

1. 開会挨拶 13：30～13：40 田中 浩（理事）
2. 基調講演「木の住まいが居住者にもたらす健康と快適性～その科学的な検証～」
13：40～14：25 慶應義塾大学理工学部 伊香賀俊治 教授
3. 成果報告（30分/1題） 14：25～16：40
 - 1) プロジェクトに関する概略説明 14：25～14：55
杉山真樹（プロジェクト主査、木材加工・特性研究領域）
 - 2) 木材の触覚特性が人間の生理・心理面に与える影響の解明 14：55～15：25
杉山真樹、恒次祐子（東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 休憩（15分間） 15：25～15：40
- 3) 木材の視覚特性が人間の生理・心理面に与える影響の解明 15：40～16：10
仲村匡司（京都大学大学院農学研究科）
- 4) 木材の嗅覚特性が人間の生理・心理面に与える影響の解明 16：10～16：40
松原恵理（複合材料研究領域）
4. プロジェクト成果に対するコメント 16：40～16：55
東京大学大学院農学生命科学研究科 信田聡 教授
5. 閉会挨拶 16：55～
17：00 閉会予定 村田光司（研究ディレクター）

【問い合わせ先】

〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材加工・特性研究領域

杉山真樹（E-mail: sugicchi@ffpri.affrc.go.jp, Tel: 029-829-8302, Fax: 029-874-3720）